

事業所名 白井市こども発達センター

公表日 令和7年 3月25日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	22	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	21	1	・担当が欠勤の場合、児童の状態に合わせて他の担当職員が応援に入っている。 ・一人ひとりに丁寧に関わりたい時は時間差をつくったり、1日の流れを組み替えて個々にかかわれるようにしている。また、集団療育のグループをこえて足りないところは補う。 ・手厚い療育ができています。他の指導室の状況が大変そうな時は協力できている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21	1	・情報過多な時は仕切りなど利用し児童がスムーズに行動できるようにしている。 ・次の活動のものを見てしまうと今やることに集中できない時があるので、布や仕切りで隠している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	21	1	・児童用の椅子の肘かけ部分が汚いことがある。給食後、療育終了後に履くように心がけている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22	0	・天候の様子で外で十分身体を動かさない時は遊戯室等を利用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	22	0	・担当同士で情報共有や、次に活かせるよう毎日振り返りをしている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22	0	・会議を設け話し合い、改善できる点は改善に努めている。 ・保護者の希望したフィードバックの時間を取り入れて対応している。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22	0	・振り返り、情報共有、会議を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	18	4		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	21	1	・職種に関係なく、全職員が受けられる機会を増やしている。 ・必要な研修は自己判断で参加するようにしている。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	22	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21	1	・情報共有、担当同士で個別支援計画を検討している。 ・時間の余裕がある時に資料を閲覧するよう心がけています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	2		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	22	0	・児童が活動に向き合え、取り組めた達成感が味わえるよう繰り返しを大切に課題を考えている。 ・集団療育のグループによって違うが、活動内容について意見を言える環境はある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	21	1	・時にローテーションになりがちですが、同じねらいでも変化をつけて意欲的に取り組めるよう考えています。 ・繰り返すことが必要な児の場合、あえて同じような活動を取り入れていくこともある。 ・繰り返し固定した活動が良い場合もあるので、話し合いで決めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	22	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	22	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22	0	・活動の中で注意点ができた時は所内全体でも確認するよう送りがある。 ・その日の活動の振り返りをして職員間で意見を出しあい、より良い支援に繋がるようにしている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	22	0			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	22	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	21	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	22	0	・事業所意見交換会を開催している。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	21	1		
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	16	6		・当センターの職員が自立支援協議会に参加していることを職員に周知していきます。	
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	15	・センター自体ではありませんが、保育園、幼稚園に通いながらの児童が多いので交流があります。	・今年度は交流する機会は作っていないが、必要性について今後検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	22	0	・集団療育では、年2回面談を設けている。療育後にこどもの様子について伝えるようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	22	0		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	22	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	22	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	22	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	22	0	・個別面談の時間を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	19	3	・保護者同士の交流の場はある。 ・クラスミーティングの開催など。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	22	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	22	0	・個々の家庭環境により個別に周知することもしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	22	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	22	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	15	・地域住民を招待している機会を知らない為分からない。 ・受給者証を所持する保護者には開かれてきた。	・必要性について今後検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	22	0	・避難訓練、研修として取り入れている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	22	0	・初回の面接で、保護者に確認することや健康調査票で確認をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	22	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	22	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	22	0		

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	21	1	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員に周知するよう、朝礼、終礼、各集団療育のグループで発信している。 ・朝礼、終礼の申し送り、ヒヤリハット記録表で周知している。 	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、事例をあげて話しあい、防止に努めている。 	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	22	0		